

おう t 情勢報告（令和 8 年 5 月分）

中央東農業振興センター嶺北農業改良普及所

目指せ！病害防除の省力化！ ～米ナス常温煙霧機の設置～



常温煙霧機の設置作業の様子

4月21日、れいほく園芸部米ナス部会の部会員のハウスで、常温煙霧機の設置作業を行いました。

この実証では、米ナスで活用している天敵昆虫や訪花昆虫に影響が少ない薬剤を体系的に常温煙霧機で処理し、うどんこ病・黒枯病・すすかび病・灰色かび病の防除効果を検討します。

米ナス部会では、実証農家以外に1戸が今年導入し、他1戸が導入を検討するなど、省力効果が注目されています。

「高温期は日中ハウスに入ることすらできない。常温煙霧機なら夜間に防除が終わるので非常にありがたい」と実証農家も期待しています。

普及所は、新たな防除技術の確立を目指し、関係機関と協力しながら実証までの調査・検討と部会への報告を行っていきます。

今年も病害虫と暑さに注意！ ～米ナス現地検討会～



常温煙霧機の利便性を説く
部会長

4月23日に、れいほく園芸部米ナス部会の現地検討会が開催され、部会員6名が参加しました。

実証試験を行う2カ所のほ場で行われ、普及所からは実証内容である土壌水分センサーを活用したかん水管理と、常温煙霧機での病害防除について説明した他、かん水や病害虫防除のポイントを伝えました。

参加者からは、これからの季節に発生しやすい病害虫について意見交換が行われ、「発生してからでは防除が難しいので予防を徹底するべき。」という意見が出ました。

普及所では、米ナスの栽培技術向上を目指し、これからも関係機関と協力しながら指導を行っていきます。

「れいほく園芸研究会」今年も活動開始！ ～J A高知県れいほく園芸部役員会～



説明を熱心に聞く参加者

4月24日、J A高知県れいほく園芸部の役員会が開催され、役員農業者5名とJ A 6名、普及所6名が参加しました。

会では、令和8年の園芸部の活動状況や出荷計画などとともに、「れいほく園芸研究会」の活動計画について、事務局のJ Aとともに普及所が説明し、活動内容が共有されました。

「れいほく園芸研究会」は一昨年に発足、昨年からは活動を開始したもので、普及所はこの中で、J A、園芸部とともに高温対策や有望品目栽培拡大など産地の課題解決に取り組んでいます。

今後も普及所は、関係者との連携を密に、計画した活動に取り組み、「れいほく八菜」の発展につなげていきます。

有機栽培の取組等について協議しました！

～れいほく柚子部会役員会～



役員会の様子

4月27日、JA高知県おおとよ支所でれいほく柚子部会役員会が開催され、生産者11名が出席しました。

普及所からは、有機栽培の取組等を周知する文書や、生産者に積極的なユズ栽培に取り組んでいただくための『れいほく柚子部会 栽培指針』を共有し、それぞれの内容について検討いただきました。

協議の結果、周知文書並びに栽培指針の内容はほぼ合意され、6月に全戸へ発送することが決まりました。

また、栽培講習会や県外産地での視察研修を9月に開催するよう準備を進めていくこととなりました。

普及所では今後も、当部会の円滑な運営や生産者の技術向上に寄与できるよう、引き続き支援に取り組んでいきます。

担い手のさらなる経営力向上に向けて

～経営相談対応～



面談の様子

嶺北農業改良普及所では、農業者の経営力向上に向けた支援を行っています。今回、法人化も含めた経営改善の相談があった認定農業者1名に対し、5月12日に農業会議・町・普及所職員で面談を行いました。

農業会議からは法人化によって変わる税金・社会保険制度や法人の設立方法など、法人化に向けた基本事項を、普及所は相談者の前年の経営実績のとりまとめ結果をそれぞれ説明し、今後の経営改善に向けて協議しました。

生産者からは「法人化のメリット・デメリットが良く分かった」や「労務管理をもっと勉強したい」といった声がありました。

今後も普及所は研修会等への声かけや日々の巡回指導など、関係機関と連携しながら支援していきます。